

ほけんだより

すこやか

平潟小学校保健室



健康診断

発育測定の結果をお知らせします

令和3年度
4月8日現在
男子 73・女子 75
児童数 148名

【令和3年度4月・平潟小学校の発育測定結果】

※県平均は令和元年度統計結果より

		男 子		女 子	
		しんちょう 身長(cm)	たいじゅう 体重(kg)	しんちょう 身長(cm)	たいじゅう 体重(kg)
1年	本校	117.6 [△]	24.9 [△]	115.4	21.1
	県平均	116.4	21.6	115.4	21.1
2年	本校	123.4 [△]	24.7 [△]	123.2 [△]	23.6
	県平均	122.5	24.6	121.7	23.6
3年	本校	129.0 [△]	28.8 [△]	128.3 [△]	28.1 [△]
	県平均	128.4	27.8	127.7	27.1
4年	本校	134.3 [△]	35.1 [△]	133.9 [△]	29.9 [▼]
	県平均	133.4	31.6	133.0	30.2
5年	本校	144.2 [△]	43.0 [△]	141.8 [△]	37.5 [△]
	県平均	139.1	34.8	140.4	34.5
6年	本校	147.4 [△]	45.9 [△]	148.1 [△]	45.0 [△]
	県平均	145.0	39.5	146.9	39.7

【本校児童の体格について】

男子は、全学年とも県平均をすべて上回り、体格がよいと言えます。特に体重は、1, 4, 5, 6学年において県平均を大きく上回りました。

女子は、身長が2学年以上で、県平均をすべて上回りました。また体重は3, 5, 6学年において県平均を上回り、中でも5, 6学年は大きく上回りました。

《参考》
△印 県平均より上回っているもの
▼印 県平均より下回っているもの

個人の結果も、本日、個別に配付しました。

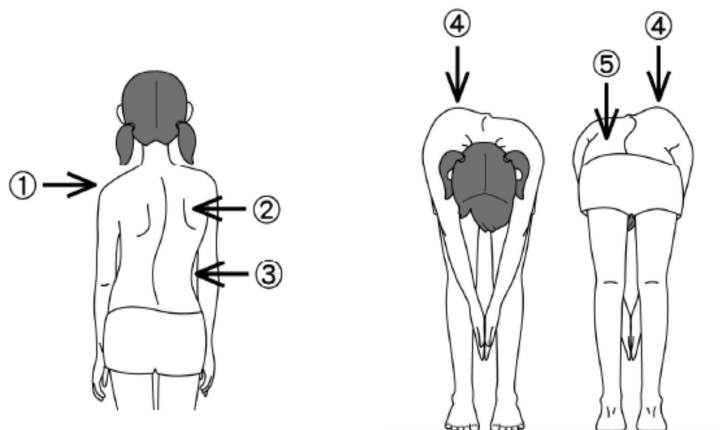


おうちで側弯症のチェックをしてみてください！！

側弯症の原因は、姿勢が悪いことが原因とよく言われますが、まだはっきりとは解明されてはいません。発見が遅れると外見上の問題や呼吸障害等が起こることもあり、治療には手術が必要になることもあります。ご家庭でチェックしてみましょう。

【チェック方法】

- 上半身裸になり、立ったまま、後ろから見て、①②③を確認する。
- 足を肩幅に開き、体を前に倒し、両腕をたらし、両手を合わせた状態で、前後から見る。④⑤を確認する。※⑤は④より深いおじぎをさせてみる。



側弯症は、身長が伸びる時に進行します。多くは10歳頃から発生し、女子の方がやや多い傾向があります。

側弯症になると、**背骨がS字やC字に曲がり、背骨にねじれ**が現れ、様々な健康問題につながります。半年に一度程度は、チェックすることをお勧めします。

もし、下のチェック①～⑤で異常を見つけたら、早めに整形外科で受診してください。

判断に迷う場合は、遠慮なく、保健室の滝まで連絡してください。



【5つのチェックポイント】○をつけましょう。

立位

- ①両肩の高さの違い あり・なし
- ②肩甲骨の高さ、位置の違い あり・なし
- ③左右ウエストライン非対称 あり・なし

前屈

- ④背中（肋骨）の高さの左右の違い あり・なし
- ⑤背中（腰）の高さの左右の違い あり・なし